



福中だより

昭島市立福島中学校
平成28年3月3日 NO. 13
042-541-2940

1年生川越遠足

副校長 野中 明

福中の体育着を着ていなければ、誰が見ても小学生のようだったみなさんと一緒に行った「秋川飯盒炊さん」から9ヶ月が経ちました。たいへん寒く、今にも泣き出しそうな曇行きの中、立川駅集合から「川越班行動」が開始されました。

ふだん生活している「福島中地区」からバスで15分乗ると、高層ビルが建ち並ぶ立川駅市街に出ます。さらに電車で小一時間乗ると、ここは現代の日本なのか、と見間違ふほどの歴史ある建物が多く残る川越に着きます。田畑の残る地区から、近代的な街並みへ、そして歴史を感じる街とタイムスリップを味わいました。

川越は「時が人を結ぶまち」として、多くの観光客が集まる地域です。今回、生徒は「喜多院ゾーン」、「本丸御殿ゾーン」、「蔵造りゾーン」を自分たちで計画を立てて巡りました。



(本川越駅で出発チェック)

(お土産目当ての「駄菓子屋横丁」)

(川越のシンボル 時の鐘)

生徒の多くは事前学習からこの日を待ち遠しく思っていたようです。「調べたことと同じだった!」「写真よりすごい!」と見学地で目を輝かせていました。全体を見れば、往復や見学途中には大きなトラブルはありませんでした。今回、自分たちで立川ー川越を見学往復できたことは大きな力となったと思います。「秋川」の頃よりも、ずいぶん中学生らしい姿を観ることができました。

しかし、個々の生徒に目を向けてみると「社会性」が育っていない部分が多くあり、今後の課題が明確になりました。これも学校として考えれば収穫です。

「学習」には、さまざまなねらいがあります。日常は教室で教科書を用いながらの学習が主であり、欠かせないものですが、学校から離れないと学習できないねらいも多くあります。また、それぞれの学習には、ねらいをより高く達成できる「適時性」があります。一年生4月の「秋川」、1月の「川越」、二年生の「菅平」、三年生の「京都・奈良」、それぞれの校外での学習には独自のねらいがあります。今回の校外学習のねらいで達成できたことは、これからの家庭や学校、社会での生活に、必ず役立つことでしょう。未達成の部分は今後、改善していけばよいです。一年生にとって、中学校生活はまだ、二年間もありますから。

小学生の体験授業

共成小学校 6年生 2月16日(火)



英語の授業

Welcome to 福 Donald



数学の授業

正の数と負の数の計算



国語の授業

口を含む文字を見つける。

玉川小学校 6年生 2月19日(金)



家庭科の授業

裁縫を行いました。真っ直ぐに縫えたかな。線を引いて、縫いましたが、難しい？上手に真っ直ぐに縫えている生徒もいました。



数学の授業

プラスとマイナスの説明を聞き、借金と財産の例より、たし算の練習をしました。



英語の授業



Welcome to 福 Donald

1年生福祉体験

車椅子に乗っている人を考えて押す。向きを変える事で、安心・安全な対応。目が見えない人に対する配慮を身につける。アイマスクを付けると急に怖くなり、動きが遅くなります。



地域清掃活動 2月29日(月) PM3:00~4:30 雨天中止になりました。
・オレンジ公園周辺 ・学校周辺 ・多摩大橋と周辺 ・市民プールの下と周辺

収穫祭 3月 5日(土) 1年生は、全員参加です。2、3年生は希望者の参加です。
12:40~小学生は、視聴覚室で各部活動の紹介をスライドで説明があります。